

問1	日本国憲法第25条において、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されている権利を何とといいますか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 財産権	2. 生存権	3. 幸福追求権	4. 環境権
問2	日本国憲法第98条では、「この憲法は、国の最高法規であつて、その条規に反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部は、その効力を有しない」と定められています。このように、憲法が国内の法体系の頂点に位置づけられ、いかなる法や国の行為もこれに従わなければならないとする原則を何とといいますか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 最高法規	2. 平和主義	3. 法の支配	4. 国民主権
問3	日本の租税は、その納付先となる行政主体によって「国税」と「地方税」に大きく分けられます。国を運営するための財源として、国に納める「国税」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 所得税と自動車税	2. 自動車税と固定資産税	3. 相続税と固定資産税	4. 所得税と相続税
問4	2018年における日本の都道府県別小麦収穫量において、過半数を超える61.6パーセントを占め、全国1位となっている都道府県はどこですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 福岡県	2. 新潟県	3. 佐賀県	4. 北海道
問5	日本におけるブリ類の「海面漁獲量（天然もの）」と「海面養殖業（養殖もの）」の統計的な特徴を比較した説明として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 海面養殖業の上位5県には愛媛県や高知県といった四国地方の県も含まれるが、九州地方の3県の合計収穫量はに及ばない。	2. 海面漁獲量の上位5道県はすべて日本海側に位置しており、対馬海流を利用した漁行が盛んなため、養殖業よりも安定した生産量を維持している。	3. 海面漁獲量では長崎県が全国1位であるが、海面養殖業では鹿児島県が1位となっており、九州地方内でも漁法によって主要な県が分かっている。	4. 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。
問6	中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 隋	2. 唐	3. 南朝	4. 北朝
問7	2014年における年齢階層別のインターネットショッピング利用率の統計において、その特徴的な傾向を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)			
	1. インターネットショッピングは若者特有の文化であるため、50代以上の利用率は2002年からほぼ変化していない。	2. 家事や育児、仕事などで多忙な世代を含む30代後半において、利用率が高い水準にある。	3. 定年退職後の時間を活用した買い物が増えたため、60代の利用率が30代の利用率を大きく上回っている。	4. 24歳以下の若年層の利用率は、2002年時点と比較して5倍以上の開きが出ており、全世代で最大の伸び率である。
問8	農地改革が実施された後の日本の農業構造について、1946年と1949年の統計データを比較した際に読み取れる、農家の経営規模に関する特徴として正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 耕地面積が1ヘクタール未満の小規模な農家が大幅に増加し、特に0.5ヘクタール未満の層が最も大きな割合を占めるようになった。	2. 自作農の戸数は増加したものの、1戸あたりの平均耕地面積が拡大したため、1ヘクタール未満の小規模層の割合は減少した。	3. 農地の集約化が進んだことにより、3ヘクタール以上の広大な土地を所有して経営を行う大規模な自作農の割合が急増した。	4. 不在地主から土地を譲り受けた農家の多くが共同組合を設立したため、個人による小規模な経営規模の農家はほとんど姿を消した。
問9	1543年に種子島へ漂着して日本に鉄砲を伝えた人々は、現在のどの国に属していましたか。その国はヨーロッパのイベリア半島に位置し、東側でスペインと接し、西側は広く大西洋に面しているという地理的特徴があります。 (2018年 大阪府公立入試 類似)			
	1. イギリス	2. オランダ	3. イタリア	4. ポルトガル
問10	室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 観阿弥	2. 近松門左衛門	3. 雪舟	4. 世阿弥
問11	江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。	2. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。	3. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。	4. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。
問12	東北地方に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、鎌倉時代初期に滅亡へと追い込まれた背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 足利尊氏による新しい政治体制の樹立を拒み、武家勢力の反感を買ったため	2. 自由な商工業を重視する政策が、当時の朝廷が定めた律令制度に違反したため	3. 鎌倉幕府を樹立しようとする平清盛の勢力拡大に巻き込まれたため	4. 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため
問13	日本の司法制度では、裁判の慎重さを期して人権を守るため、同じ事件について3回まで裁判を受けることができる三審制が採用されています。地方裁判所や簡易裁判所などで行われた「第一審」の判決に対し、内容に不服があるとして、次に高等裁判所などの「第二審」へ裁判を申し立てる手続きの名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)			
	1. 控訴	2. 抗告	3. 再審	4. 上告

答え合わせ・解説

問1	答え 2 生存権	日本国憲法第25条第1項の規定は、人間が人間らしく生きるための権利を保障するもので、社会権の基本となる考え方です。この条文にある「健康で文化的な最低限度の生活」というフレーズは、社会福祉や社会保障などの国の施策の根拠となっています。
問2	答え 1 最高法規	日本国憲法は、日本のあらゆる法（法律、命令、規則、条例など）よりも強い効力を持つ法体系の頂点として位置づけられています。これを最高法規性と呼び、もし憲法の内容に違反する法律が制定されたり、国が不当な行為を行ったりしたとしても、それらは法的な効力を持たず「無効」となります。これは、憲法によって国家権力を制限し、国民の権利を守るという立憲主義の根本をなす重要な仕組みです。
問3	答え 4 所得税と相続税	国税は、国の活動を支えるための財源として日本国政府に納める税金です。個人の所得に対して課される所得税や、亡くなった人から財産を引き継いだ際に課される相続税、法人税、消費税などが国税に分類されます。一方、地方税は都道府県や市区町村に納めるもので、自動車税や固定資産税がこれに該当します。
問4	答え 4 北海道	日本の小麦生産は、広大な土地を活かした大規模な農業が行われている地域に集中しています。統計上、全国の収穫量の6割以上を占める北海道が圧倒的な1位であり、それに次いで九州地方の福岡県や佐賀県が上位に位置しています。主食である米と比較して、小麦はより広大な面積を必要とする土地利用型農業としての側面が強いため、北海道が主要な産地となっています。
問5	答え 4 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。	日本のブリ類生産は、海面漁獲量よりも海面養殖業による収穫量の方が多いという構造になっています。養殖は鹿児島県（1位）、愛媛県（2位）、大分県（3位）、宮崎県（4位）、高知県（5位）と西日本の暖かな海域で盛んですが、特に鹿児島、大分、宮崎の九州3県によるシェアが非常に高いのが特徴です。一方、海面漁獲量では北海道が1位であり、長崎、島根、岩手、千葉と各地に分散しています。
問6	答え 3 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問7	答え 2 家事や育児、仕事などで多忙な世代を含む30代後半において、利用率が高い水準にある。	2014年の統計では、30代後半を中心とした層で利用率が非常に高いことが示されています。これは、仕事や家事に追われ、実店舗へ行く時間を確保しにくい現役世代にとって、効率的に買い物ができるインターネットの仕組みが強く支持されていることを背景としています。また、24歳以下の若年層よりも、経済的な余裕がある30代以上の方が実際の利用率において高い傾向にある点も特徴です。
問8	答え 1 耕地面積が1ヘクタール未満の小規模な農家が大幅に増加し、特に0.5ヘクタール未満の層が最も大きな割合を占めるようになった。	農地改革によって多くの小作農が自作農へと昇格しましたが、分け与えられた土地は細分化されており、個々の農家の経営規模は極めて小さいものでした。1946年から1949年にかけての統計を見ると、1ヘクタール未満の層、とりわけ0.5ヘクタール未満の極小規模な層の割合が著しく増加しており、これがその後の日本農業における「零細経営」という課題につながっていました。
問9	答え 4 ポルトガル	1543年に種子島に鉄砲を伝えたのはポルトガル人です。ポルトガルはイベリア半島の西端に位置する海洋国家で、16世紀にはアジア各地に拠点を築き、日本とも貿易を開始しました。その後、1549年には同じくイベリア半島のスペインから派遣された宣教師ザビエルによってキリスト教が伝えられることとなります。
問10	答え 4 世阿弥	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、北山文化の時期に多くの文化人を保護しました。その中で世阿弥は、父の観阿弥とともにそれまでの猿楽（田楽や猿楽などの庶民的な芸能）を洗練された歌舞劇へと発展させ、現代まで続く「能」を完成させました。観阿弥は世阿弥の父、雪舟は室町時代の水墨画家、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者です。
問11	答え 4 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問12	答え 4 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため	源頼朝は、対立した弟の源義経が平泉へ逃げ込んだことをきっかけに、奥州藤原氏への攻撃を開始しました。しかし、その背景には義経の保護という口実だけでなく、当時東北地方で独立した強大な勢力を持っていた奥州藤原氏を排除し、全国的な支配を確立したいという頼朝の政治的な目的がありました。
問13	答え 1 控訴	三審制において、最初の裁判（第一審）の判決に納得できない場合に、上の階級の裁判所（第二審）に対して審理をやり直すよう求めることを控訴といいます。これに対し、第二審の判決に不服がある場合に第三審へ申し立てることは上告と呼ばれます。この仕組みにより、裁判の誤りを防ぎ、国民の権利を保護しています。